
すくーる 学園物語

藍原颯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すぐーる 学園物語

【Zコード】

Z97820

【作者名】

藍原颯

【あらすじ】

この春に転校してきた少年【桐原黎人】を中心とする、どうしようもなく残念な物語（笑）ラブコメなのだろうか、いやラブコメではなくさうだ

第一話　「これが最初の物語（前書き）

いろんなアニメなどからネタを拾っていくので、面白くでもたらいいなと思います。感想など、できたら欲しいです

第一話 これが最初の物語

桜の花がまだ満開には程遠く、心持ち自分の存在をアピールしていった頃。僕は、この町にやってきた。僕の名前は桐原黎人きつはらあきひと今年から中学生二年生。普通の学校なら受験生だけれど、僕の学校はエスカレータ制を採用しているため、高校へは自動的に進学することができる。この学校はもちろん私立であり、成績も優秀なのだが、巷では変人しかいない学校と呼ばれているらしい。

「はあ……転校初日って、緊張するんだよなあ……」

僕の家から学校までは、自転車で数分の距離なのだが、初日は職員室に行つたりと様々用事があるので、遅刻するわけにはいかないのだ。なんとも言えない疲労感のような物を抱きながら、僕はようやく【九頭竜学園】に足を踏み入れた。

迷路のような廊下を、案内板を読み解きながらなんとか職員室にたどり着き、先生に挨拶した。

「君が、桐原君か」

「はい。えと、よろしくおねがいします」

「七組の連中は我々教師の目から見ても、かなりの変人の集まりだ。まあでも、すぐに仲良くなれるだろうさ」

何だか、僕の学校生活の雲行きが一気に危うくなつた気がした。

「はじめて。桐原黎人といいます。よろしくお願ひします」
お決まりの一言を当然のように言つた。僕の席は……なんと、ど真ん中だつた。そして、何か僕は違和感を感じた。教室に入つたときから、何かがおかしいと思っていたけど、ようやく理解した。クラスは全員で40人、ここまででは問題ない。問題は次だ。僕以外の男子が4人しかいないのだ……

当然の如く、まわりは女の子だらけ。転校生というだけでもかなり目立つのに、それが男子なのだから、彼女らのテンションもかなり上がっている。因みに、僕は大してイケメンではない。どこぞのア

一メの主人公のよつな運命を辿るのは、まず有り得ないだろ。

訂正しよ。

さつきからずつと周りの女の子から話しかけられまくつてい。しかも、よく見たらクラスの女の子は全員が全員美少女だったのである。

流石にどんな唐変木でも、この状況は理解できるだろ。女の子からは好意的な目線を送られつつ、男子からは敵意しか感じられない殺氣のようなものを感じる。

僕の学校生活に平和が訪れる事は無さそつだ。

第一話　「これが最初の物語（後書き）

随時更新していきます。

次回は桐原君が…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9782u/>

すぐーる 学園物語

2011年10月8日20時23分発行